Audi
Media Info

2016年8月8日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ　03 - 5475 - 6309
http://www.audi-press.info/
お客様問い合わせ　0120 - 598106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第5戦富士にて Audi R8 LMS が2位表彰台を獲得

- Audi Team Hitotsuyama は予選2位からの快走を見せ、トップと僅差の2位でフィニッシュ
- Team TAISAN SARD は予選12位から粘り強く走り続け、8位入賞を果たす

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。予選8月6日、決勝8月7日に富士スピードウェイ（静岡県）で SUPER GT 第5戦「FUJI GT 300km RACE」が開催されました。前戦に続き、#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN SARD（チーム タイサン サード）の2 チームが新型 Audi R8 LMS で参戦。Audi Team Hitotsuyama が2位表彰台を獲得しました。

Audi Team Hitotsuyama は、2012年より Audi R8 LMS で GT300 クラスに挑戦を続けており、ドライバーは昨年と同じくリチャード ライアン選手と藤井誠暢選手がコンビを組みます。今年はマシンも市販モデルのフルモデルチェンジに合わせて新型に、またタイヤメーカーもダンロップへと変更になり新体制でレースに望んでいます。Q1、Q2 と2回に分けて行われる予選では、まず藤井選手がトップとコンマ1秒差に迫る2番手タイムで Q1 を突破。Q2 に臨んだリチャード ライアン選手も、トップに肉迫するタイムで GT300 クラスにおいて2番手グリッドを獲得しました。

300km を走る決勝では第1スティントを藤井選手が担当。スタート時からトップとテールトゥーノーズの走りを見せながらしっかりとポジションをキープして 28 周を走り、第2スティントを担当するリチャード ライアン選手にステアリングを託します。ピットインのタイミングでタイヤを2本のみ交換するという作戦をとったトップとの差は約6秒にまで広がりましたが、後半猛烈な追い上げを見せ、最終ラップ、最終コーナーの立ち上がりではトップと横並びの激走で、わずか 0.1 秒差で2位となりました。偶然にもこの日、誕生日を迎えたリチャード ライアン選手にとって想い出深い表彰台となりました。

Audi Team Hitotsuyama　一ツ山亮次チーム代表のコメント
「チーム単体として見ればほぼ完璧なレースでした。マシントラブルもなく、ドライバーやメカニックにもミスがありませんでした。ライバルはタイヤ2本交換で後半にきつくなることは想像していましたし、そのとおりの展開になりました。そして最後にリチャードが猛烈なプッシュをしてくれました。トップとの差もわずか 0.1 秒で、もちろん勝ちたかったですが、いまチームにはいい流れがきていますし、とてもいい雰囲気にあります。次の鈴鹿は 1000km の長丁場でピットストップだけでも5、6回あり、もっともチーム力が問われるレースです。ぜひそこでリベンジを果たしたいと思います」

藤井誠暢選手のコメント
「これまで富士はあまり相性のいいサーキットではありませんでしたが、先のテストを経たことですごくいいタイヤが開発でき、前戦の菅生でもいいレースができたので今回は自信がありました。ライバルも速かったのですが、新型 Audi R8 LMS はブレーキ性能が高くて1コーナーやダンロップコーナーでつめて、あちらはターボなので立ち上がりで少し離される、そういう一進一退の攻防でした。そして、後半のリチャードの走りをみて僕達の Audi R8 LMS が、タイヤにやさしく、長距離に強く、優勝のポテンシャルをもったクルマだと確信することができました。次は相性のいい鈴鹿です。絶対にアウディで優勝したいと思っているので、期待していてください」

リチャード ライアン選手のコメント
「チームやファン、そしてアウディジャパンや僕自身にとってもいい結果を出すことができてとてもうれしいです。気温が高くてタフなレースでしたが、マシンもタイヤも素晴らしいコンディションで、ブレーキングエリアやハイスピードコーナーではライバルよりも速さがありました。最終ラップは入賞のチャンスを失わないようにリアタイヤのグリップに細心の注意を払いながら、限界まで攻め込みましたが、今日は相手もまったくミスをしなかった。しかし、いま確実にチームもマシンもポディウムに上がることができる力をつけてきたことを実感しています」

Team TAISAN SARD は、今回、新型 Audi R8 LMS で 3 戦目となります。

チームとしては 2 度目の挑戦となる富士では、予選 Q1 をルーキーの元嶋選手が見事に通過。Q2 を担当した密山選手が予選 12 位のポジションを獲得しました。決勝では第 1 スティントを元嶋選手が担当し、他のチームが 30 周前後でドライバー交替する中、粘り強く 40 周を走り切りました。第 2 スティントを担当する密山選手へとドライバー交替し、コース上へ復帰した際には順位は 8 位へとジャンプアップ。そして、密山選手はコンスタントに周回を重ねこの位置をキープし、チームは 8 位入賞を獲得しました。

Team TAISAN SARD　近藤尚史チーム監督のコメント
「長いスティントを走ったデータもまだありませんので、ぎりぎりまでひっぱろうと意図的に第一スティントを長くとる作戦でした。狙いどおりうまくポジションをあげることができました。タイヤ交換はバランス的にみてリアの 2 本のみにしましたが、それも密山選手のスティントでまずまずのタイムで周回を重ねられることが分かりました。新車で 3 戦目ですから、こうしてデータを積み重ねて少しづつ着実に進化していく必要があります。次は 1000km レースということもありゲストドライバーに元 F1 ドライバーの中野信治選手を迎える予定ですが、安定した走りをしてくれると期待しています」

元嶋佑弥選手のコメント
「長いスティントではみんながピットインしてからの勝負になりますし、タイヤを 2 本のみ交換する作戦でしたから、序盤はタイヤをいたわりながら走りました。後半にプッシュすると思ったよりも早くリアタイヤが滑るようになりましたが、まずまずのペースで走り切ることができました。予選は良くなってきましたが、決勝のセッティングはまだまだ試行錯誤で、早く勝てるように努力していきます」

密山祥吾選手のコメント
「まだロングランのデータがないので元嶋選手に頑張ってもらって、おかげでレースらしいレースができました。僕らのマシンはオーバーステア傾向になることがあってタイヤ 2 本交換という作戦をとりましたが、結果としてはうまくいきました。少しづつですがベースのセッティングが固められてきました。もちろん 8 位に満足できているわけではないので、鈴鹿にも期待していてください」

次戦の SUPER GT 第 6 戦は 8 月 27～28 日、鈴鹿サーキットにて開催予定です。

アウディでは特設部門「Audi Sport（アウディ スポーツ）」の指揮のもと、コーポレートモータースポーツとして、ハイブリッドレーシングカー Audi R18 でルマン 24 時間レースをはじめとする世界耐久選手権（WEC）と、Audi RS 5 DTM で DTM（ドイツツーリングカー選手権）に参戦しています。またカスタマーモータースポーツとして GT3 レースカーAudi R8 LMS を世界中のプライベートチームに供給するなど、モータースポーツ活動全般を司っています。今後はこの Audi Sport を、アウディのスポーティなブランドイメージをより一層強調するサブブランドとしてグローバルで展開していきます。今年 7 月、日本国内でもコミュニケーション拠点である Audi Sport 店を全国 24 店舗でオープンしています。